

**令和 5 年度
地産地消に関するアンケート結果**

～資料編～

**2024年（令和6年）3月
藤沢市**

(26) このアンケート及び「地産地消」についてのご意見等がありましたらお聞かせください。

【1 藤沢ブランドの創出】

(1) 一次製品の創出

- ・農業も漁業も高齢化が進んでいるので特産品を作るなど儲かる農業や漁業にしないと若い人が参入できるようにしないといけない。
- ・藤沢産といわれても特にこれといった特色がない。例えば他市の場合ブドウ、梨等は伊勢原、米は平塚、イチゴは海老名等、藤沢はこれだというのがキャベツ以外に見当たらない。
- ・神奈川県というくくりで考えたら生産物といえるが藤沢となるとトマト、しらすくらいしか思い浮かばない。
- ・「しらす」以外あまり知られていないのでは？
- ・そもそも藤沢の特産物がなんなのかあまり知らない。
- ・藤沢市は何が特産物なのか知らない。
- ・そもそも藤沢の特産物って何があるかわからないので、もっとアピールしてほしい。しらすくらいしか知らない。学校の牛乳は近藤牛乳だったか？
- ・神奈川の物産品をもっとメジャーにする事を推奨して欲しい。例えば、湘南ゴールドは、美味しいがほとんど売っているのを見たことがないなど実際流通量も少ない気がする。加工食品だけが一人歩きしても本物の美味しさを知らないとなかなか買う気が起こらない気がする。

(2) 加工品等の開発

- ・年代問わず、もっと気軽に地産地消にトライできるとよい。Ex) ふりかけとか毎日使えたり持ち運べるものを作るなどもいいかもしれない。
- ・藤沢といえばシラス。シラスの丸てん→うどんの具にもおいしいと思う。
- ・真空パックのアジの干物（湘南産とか）などあればうれしい。贈答品も地元のものを利用している。多彩な品揃えを希望する。
- ・他県に実家があり、帰省する際お菓子以外のおみやげを持っていきたいが思いつかずいつも崎陽軒のシウマイになってしまう。魚貝類そのものだと近隣の県でも豊富にあるので独自の加工物があつたらいいなと思う。
- ・B級グルメのような一品で地元農産物を売り出したらどうか？南部エリアでは手に入りづらい。EX) 村岡やきそば"
- ・食材の調理後・名物としてアピールがない。例 魚介⇒しらす丼 農産野菜⇒？
- ・レストランとのメニュー開発→ご当地グルメ。

(3) その他

・鎌倉野菜は有名なネーミング。藤沢野菜ももっと有名になり耳になじむようなネーミングになるとよい。

・農産物のブランド化の促進、サポート体制の充実を期待したい。(例に鎌倉野菜) 例えばみやじ豚、井出トマトの価格など購入先情報提供。

・地域で「湘南野菜」とは聞くことはあるが「鎌倉野菜」などのようなブランド感がないので残念。アピールの仕方、広告の仕方に問題があるのではないかと感じている。

・地産地消を推進するためにはブランド化が必要であり、テレビ等で積極的に情報発信することが必要である。

・海外へ輸出しブランド化し日本で価値を高めて販売を促進する。

・ブランド化などで意味のない付加価値をつけるよりも、生産者の近くにいる誰もが手軽に手に取り消費できる仕組みを作る必要があると思う。

・ブランド化して、販売価格に転嫁させることはやめてほしい。

【2 給食供給強化】

(1) 給食における藤沢産農水産物の利用促進

・子供たちの学校給食には地元の農水産物を取り入れてもらいたい。今、物価も上がっていてやりくりが大変。まともに食事をとれないで給食に頼っている子供たちもいる。今藤沢の学校給食は小学校までだが、せめて中学校まで無料で給食を提供してもいいのではないか。ほかの自治体からみてもこの点は遅れているような気がする。やはりこれからの子供たちに優しい町であってほしい。

・小学校の給食では地元の食材を使ったり、食育として地産地消についても学べるようだが、それより上の中学、高校でも地元の食材を使ったお弁当を売ったり、くだものを売ったりできるとよいのではないか。

・市内学校給食で積極的にこれからも取り入れてほしい。

・学校給食などには更に食材を使って小さい頃からその意味を知っていくことが大切だと考える。

・藤沢市の農水産物で子供達の「食」を充実させてあげてほしい。学校給食にはいろいろ苦労があると思うが、藤沢市の食材で常に充実したおいしく栄養のあるもので食育してあげてほしい。そして時々他県のおいしいものを取り入れ「食」に関心をもってほしい。大人になってからもふるさとの「味」としてずっと忘れないと思う。学校給食の充実は忙しいお母さん助けにもなり、子育て支援となり少子化問題の取り組みにもつながると思っている。

（２）学校教育での食育

・藤沢市立の小・中学校に通っている際、「地産地消」について学んだ。体験学習や地元の農家を訪ねて、話を聞く機会があり、印象に残っている。小・中学生の時期に地域に触れる経験はたくさんあるといいと思った。「井出農園」を知った機会も小学校の職場体験だった。

・学校で地元産の信頼性を学習することで地消につながり地消が増えると地産が増々必要になってくると思う。

・幼稚園、保育園、小中学校での農業学習を地域でたくさんやってみてほしい。

・私は秋田出身なので、比較すると地元のほうが食の魅力はあったなと感じる。藤沢に住んで3年だが、しらすの印象しか思い出せなかった。地元で地産地消が身近だったのは、小学校で学習する時間があったり、給食に取り入れてもらっていたりした。栄養士から食について教えてもらう機会もあった。なにより給食がおいしかったので、子供ながら食に興味を持っていた。野菜や米をもらうことも多く、自然と時期を覚えていたと思う。祖父も米を作っていて、農作業に参加していたことも良い経験だったなと思う。

・小学校時代に給食の前のコラムで地産地消について教えてもらったことで今でも地元の食材を目にすると購買意欲が高まる上に、小学校の給食を思い出す良い機会になっている。また学校（特に小学校）での地産地消や農業に関するコラムは続けていって欲しいと思う。

・子供の小学校では、給食だけで藤沢産の食材を使用したらわかりやすく書いてくれていた。安心安全で地域の為になる素晴らしい取り組みと思った。

【3 普及啓発】

（１）イベント・講座の開催

・空いている畑や水田を市民が職員（農業従事者）の方々と種・苗の植え付け～間引き・収穫と年間を通して出来たらもっと「地産地消」が身近に感じられるのでは・・・？。食物を大切にする思いや残食をしないことなど食育にもつながっていくように思う。

・大人向けの農業体験。

・生産者とのふれあいの場が増やす。

・農業体験をやってみたい。

・親子で参加できる農産物収穫などの参加イベント等が色々あるとよいなと思う。

・農家から農業を教えてもらったり、ボランティア体験がいろんな所でたくさんかんたんにできたら参加したい。

・地産地消での料理教室や試食会、体験会など、手にとる機会を増やすといいと思う。

特に主婦の人たち（ママ友など）の口コミが1番効果があると思うので、ターゲットをしぼってSNSにタグつけてもらえるようなイベントをするなどがいいと思う。

- ・市役所の玄関口で、行われている野菜の販売は楽しみにしている。片瀬漁港市場のように魚もあるとよい。
- ・市役所前でのマーケットとても良い。
- ・市役所でやっている市場みたいなイベントの回数や、時間帯などをもっと増やして欲しい。また、市役所の裏側、(朝日町駐車場)のほうでもやって欲しい。
- ・市役所本庁前で野菜などの販売や、キッチンカー来ているのは良い取組みだと思う。
- ・藤沢駅のペDESTリアンデッキで藤沢市生まれのものをイベント等で出展し、まずは市内へのアピール。テラモのステージ前のイベントスペース等。
- ・ココテラスなどで展示。
- ・小田急乗場に行く橋の上で月 1 回位地元産の大会、売り場を設けて行う。
- ・藤沢市役所の前のところで売っている農水産物を買ってよかったと思っている。続けてやってほしい。
- ・魚介類の出張販売を小田急沿線駅で定期的にやってほしい。
- ・お祭りなどの屋台にも出店してほしい。
- ・土日などサンパール広場で直売所みたいにすれば買いたい人はたくさんいると思う。マルシェなど大きなイベントをすると大掛かりになり、天気の良い日だけテーブル一つで直売所みたいにすればそれほどの労力もいらぬのではないか？ 売るほうも買うほうももっと気軽にできるとよい。
- ・市役所の前で売っているのをよく見かけるが、用事がないといかないで、駅近くまたはせめてサンパール広場で行うといく機会も増えるかと思う。
- ・藤沢市内のイベントで野菜などを売ること地域での認知度が上がっていくのかなと思う。
- ・駅でマルシェをやっているのはいいと思う。湘南モールやテラスモールでもやってほしい。やっているかもしれないが情報がない。
- ・私は農家の娘で実家の畑の仕事をしている。生産者としてはもっとイベントなどでたくさんの方に藤沢市の野菜を知ってもらいたい。きっかけなどあるといい。地産地消もまだごく一部の人達（日頃 JA 直売所を利用している方など）しか知らないのかな？とも思う。

（２） 藤沢産農水産物の表示

- ・藤沢産ふじキュンシール、POP など直売所やスーパーで使ってもらおう。スーパーの生産者さんの大きな顔写真は効果があるのではと思う。コーナーが作ってあるところはわかりやすく選びやすいと思う。
- ・いろいろなサイズのシールを作成し、食、衣、工芸に配布し藤沢産をアピールする。
- ・この用紙に描かれているイラストがとてもかわいくて和んだので「ぐんまちゃん」（他県のもので申し訳ありません。）のように包装フィルムにも描いてあったら地元のもを手取る人も増えるのではないかと思った。

- ・「藤沢産」のロゴマークは知っているがあまり目にする事がないのでもっと売り場（いろいろなところ）で販売しないと一般の人には伝わらない。
- ・ロゴマークをほとんど見ない。
- ・スーパー等で買ったことはあるがロゴマークの印象がうすく記憶に残っていないように思う。
- ・はっきり云ってどれが藤沢産のものとわからなかった。これからはマークを気を付けてみてたい。
- ・「藤沢産」ロゴマークを街中で見かけるが同色を使用しすぎて「藤沢産」という文字が目立たないと思った。
- ・よく行くスーパーに地元食材のコーナーがあり、野菜をよく購入している。「藤沢産」と書かれたシールは可愛らしく目印になってとても良いと思った。ただ、畜産物、水産物に関しては地元産であることを意識して購入することがほとんどないと感じた。野菜と違って地元食材のコーナーを作ることが難しいのも理由としてはあるかもしれないが、ロゴマークが白基調で細めのフォントを使用して作られているため白いトレイに入っていたり、明るく照らされていることが多い生鮮コーナーでは若干視認性が低いのではと感じた。明るい場所でも目につきやすい色やデザインがあればより目に留まるのでは。
- ・市全体で「地産地消」の意識が低いように思われる。「藤沢産」のラベルを工夫する必要がある。
- ・地産地消のアピールするPOPや広告をもっと大きく出したほうが良いと思う。ポスターやシールもあわい色ではなく、目につくような色にするなど。
- ・地産品を購入する気持ちはあるが、スーパー、コンビニでの商品展示等で藤沢産であることが分かりにくい。希に地元品が並んでいることもあるが、価格が高いものが多く、買いづらい。地産であるという表示（ポップ）を大々的にアピールが必要でそれによって意識が変わってもっと地産地消が進むと思う。
- ・あまり藤沢の地産地消マークを見たことがなかったのでこれからは意識してマークのついている物を購入したいと思った。
- ・おいしいと思ったお店や評判のお店で藤沢産のロゴをよく見かける気がして、そのことがきっかけで興味を持つようになった。
- ・生産者の顔がわかると、より農産物のことを身近に感じられると思うので、生産者の名前や情報をQRコード等にしてシールで張り付けるのもいいかと思う。
- ・買い物で生産者の顔写真付きの品物があると必ず手に取って確認し買うようにしている。
- ・地元の生産者の顔がみえると安心感がある。（袋に誰々さんが生産しましたと書いてあるものがあるので）スーパーなどの一角にコーナーを設置して販売するとか。

・県内の農水産物は目にする機会が多いが、藤沢産と明記してある物は少ない気がする。近所のスーパー等でも目にする事があれば進んで購入したいと考えている。生協などでも近隣の市の物の方が多い。

（３）量販店での藤沢産コーナーの設置促進

・近くの大型スーパーで常に販売する活動があればいいと思う。直売所もあると思うが遠くだ行ってまで購入したいとは思わない。

・地産地消良いと思うが、農協のわいわい市場のような鮮度の良いものを買いたいと思うが・・・高齢者になると車なし、足腰不自由な者には買い物には行けない。市内各所のスーパーや個人の店頭に分散してもらえると買いやすくなるのでは・・・たまにある店でも品数が少なく残念。

・スーパー等で地産物の売り場が小さいのもっと広く、種類も多いといいと思う。

・良い地産の物が多く販売してほしい。物が良く明るい売り場スーパー等。

・藤沢産の農水産物を八百屋や魚屋、スーパー等で目にする事が少ないと思う。もう少し出回っていたら目にとめて購入する機会も増えると思う。

・積極的に購入したいとは思っても、身近な場所に売っていないので買える機会は少ないと思う。スーパーやコンビニなどで買えるとよい。

・もっとコンビニなどの手頃な場所でも取り扱いを増やしてほしい。

・「わいわい」市場は、日曜日の朝など、すごく混んでいる。もう少しストアやコンビニでも買えたらいいと思う。

・手に取りやすいところがあれば、誰でも地元のは気になると思う。

・身近なスーパーとかで購入できると手に取りやすいと思った。

・スーパーに普通に置いていて、価格もお手頃ならもっと買うと思う。

・スーパー、コンビニで良く買い物をするので、地元のコンビニ等に地産地消のものがたくさん出ると良いと思う。

・よく利用するスーパーやコンビニ等で地元産の食材が売っていたらいいなと思う。

・スーパーなどで旬の物をドンドン売ってもらったら良い。

・地元のスーパー等に置いてもらえばよいのでは。

・タウンニュースで時々情報（県産の果物等）のっているがスーパーでは殆ど目にしない。

・スーパーで買い物をするので、一角ではなく多めに地元の野菜を置いてもらえれば私は迷わずそちらを買う。

・たまにスーパー等で地産地消の野菜など見かけると買うが、量が少なく、買いたいものがないことが多い。スーパー等の事情もあるだろうが、量を増やしてほしい。

・こちらに引っ越してきたばかりのため、藤沢の地産地消を意識したことはあまりなかったが、今後はスーパーで見かけたら積極的に購入しようと思う。価格と相談になってしまうが・・・

- ・鎌倉野菜はよく聞かすが、藤沢産としてはあまりスーパーで見かけない。自分がそういうスーパーに行っていないだけかもしれないがもっとアピールしたほうが良いと思う。
- ・ヨーカドー湘南店は藤沢産野菜コーナーがあるが、ダイエー（藤沢駅）サミット（藤沢駅）は直売コーナーで藤沢産以外の野菜が多い気がする。（千葉県産など）ぜひ藤沢産の野菜や果物を購入したい。
- ・以前から（藤沢産のものはあまり見ないが）スーパーで神奈川県産のものは買うようにしている。牛乳は藤沢産のものを買っているが、卵は産地のものをこれから買う。（産地を見ないで価格で買っている）豚肉があることは知らなかったもので、これからは産地を見たい。私はとても気に入っているので、スーパーでもっと販売したらいいのにと思っている。
- ・湘南モールフィルにある「わくわく広場」はよく利用している。大型スーパーは家族とよく行くので、こういう場所に地産地消のものと買やすい。「わくわく広場」には魚介が無いので幅広く扱っているお店があると、より買しやすい。
- ・いつも行くスーパーに藤沢産のものがあればいいなとよく思っている。（横浜産が置いてある。）
- ・近くにイオン、東急のスーパーがあるので、スーパー内で地産地消品を購入できると良い。
- ・週一度でも、コンビニなどで野菜、果物等が手に入ると良い。車の運転が難しくなるので。
- ・高齢なので、近くのコンビニや店で購入できれば、楽しいうれしい。近くの八百屋さんが便利。特に野菜をたっぷり使ったお料理が多いので助かる。魚は水揚げが不安定なので、魚専門店で購入している。
- ・調理方法やレシピが数多く置いてあると購入したくなる。
- ・生産者をはじめ直に消費者の声を拾える場、スーパーでの地産コーナー、メニュー作り方、試食時には原価ほどの提供をすることでおいしい安全をアピールする必要がある。
- ・特に大型スーパーは集客力が高いと思うので、まず農水産物のコーナーを設けて、なるべく安価で新鮮さをアピールするPOPに掲示してローカルメディアなどで取り上げて裾野を広げると良いと思う。
- ・本当に本気で地産地消を進めるのであれば前提だが、一般市民からしたら、必要な食材を買う時に、産地で検索などしないため、スーパーなどに（特に入口などすぐ目につく所）藤沢の地産地消のマークをでかでかと貼って、特設コーナーを作るべき。（あまり見たことがない）
- ・地元野菜のコーナーを設けているスーパーを一軒だけ知っているが、ほかのスーパーにもそのようなコーナーがあると良いと思う。できれば肉、魚も同じコーナーで販売されていると購入しやすいと思う。又、目々止まるように藤沢産を大きくアピールしたほうが良いと思う。
- ・スーパー（イオン）で藤沢コーナーを作してほしい。藤沢の野菜は少ないと思う。もっと大手スーパーで宣伝してみたい。

- ・スーパーで「地」の物だけのコーナーがあると買いやすい。
- ・スーパーに藤沢産のコーナーがあるといいと思う。
- ・スーパーに行くとき必ず地産商品チェックする。コープ、サミットは地産商品コーナーはしっかりしている。ほかのスーパーにもはっきりとした地産コーナー設けると良いのではないか。
- ・地産地消コーナーなどを地元のマーケットに用意すると目に留まる上に興味関心をそそると思った。
- ・近所のイオンにも地元農家さんの野菜は売っているが、コーナーが小さい。
- ・地産地消はとても良いことだと思う。スーパーの方へも積極的に売り場に出して欲しいと思う。コーナーを広げてほしい。
- ・スーパーなどに藤沢産のコーナーがあるときは見ている。できるだけそのコーナーから買っている。入口にあると見やすく良いと思う。
- ・食品を購入するスーパーやコンビニで大きく分かりやすくPRしてくれれば購買につながると思う。
- ・神奈川生協などにコーナーを設けてほしい。
- ・藤沢地産地消の生産物がよく買えるよう、大型店・小売店 ネット販売を活発にする。そしてそれにはやはり広報活動が大事になると思う。販売経路をどうするかが重要だと思う。
- ・大型スーパーなどでもっと「藤沢」を推してくれれば気づくと思う。ラベルを大きくするとか、POPがあるとスーパーの目がつくところに。店員にも推してもらおう。名札の下に藤沢市内産を伝えるものとか。
- ・ヨークフーズで市内の農家の野菜が販売されていてよく利用している。安いし珍しい野菜は食べ方の説明も出ている。
- ・スーパーでは、藤沢市の野菜や果物を別に販売しているのはよく見かけるし、利用している。
- ・家の近くの小さいスーパーでも藤沢産の農水産物が買えるのでたまに出ているとうれしい気持ちで買っている。
- ・スーパーの一角に藤沢の農家の野菜が置いてあり、季節のものがでていて買いやすい。
- ・近くのスーパーに地域の野菜を置いているコーナーがあるので、積極的に買うようにはしているが、ほかに何ができるか考えたこともなかった。
- ・定期的にスーパーや地下街等で安価で販売する。
- ・なかなか購入出来るチャンスがないのでスーパー等で地産地消という案内が書いてあると先ず一番に購入する。
- ・スーパーなどで顔写真入りの野菜などを買うことがある。生産者の方が棚に並べているのを見ると、頑張って育ててくれた野菜を買おうと思う。スーパー、コンビニ等と連携して、地元の特産品を販売促進し、地産地消をアピールできると良いと思う。

- ・直売所にわざわざ出向きにくい。（スーパーや大型スーパーで他の食料品以外の物も買ったりするので）
- ・藤沢市の農水産物を購入したいと思っているが、普段よく行くスーパーでは扱っていないので目にする機会が少なく、購入意欲が刺激されない。農協の直売所などに行けば売っているのだろうけれど、少し遠くてわざわざ行かない。目に留まりやすいところで販売していないと日常生活で地産地消を意識することもできず、藤沢産のものはごく少量でほとんど流通していないのだろうと思っていた。

（４） 購入場所、機会の拡充

- ・手に入る場所が増えれば自然と手にする回数は増えると思う。
- ・子供が産まれてから、以前より地産地消を気にするようになった。取り扱い数が少なく、置いてある場所が狭いためか、普段の生活圏内ではあまり藤沢産を目にするのではないので、買う機会が少ない。目にする機会が増えれば、買う機会が増えると思う。
- ・駅（JR、小田急）をよく利用するので、藤沢市の農産物が駅構内、商業施設でいつも購入できたらうれしい。（常設で）「道の駅」が今人気ですが、それに似た店を利用しなくても買いたい。
- ・藤沢産のものが買やすい場所で手に入るならばもっと積極的に利用したい。販売場所を増やし、そのアピール等をしていただけたらと思う。
- ・価格、野菜の新鮮さや大きさ、簡単に常に入手できる場所（駅、コンビニ、市役所（種類多め））であれば購入すると思う。それか、ラディッシュボウヤ、oisix などの配達サービスとタッグを組むと、地産地消が推進できるのではないか。細々とネットに掲載しても進まない気がする。
- ・お店や品物をもっと購入する機会があったらよいと思う。
- ・地産地消に協力したいが身近に販売されてない。
- ・「地産地消」よくTVなどで耳にするが、藤沢でとなると正直あまり目にする事が無いと思う。よく行くスーパー「ローゼン弥勒寺店」では手にすることがあったが、それ以外ではなかった。個人経営のレストランなどでは目にしたり、口にすることもあったが、もっと身近に購入出来たらと思う。
- ・長後に住んでいるが、最寄り駅は高座渋谷。各所で売られているのは大和市の農業産物ばかりなので離れている市境いでも身近に購入できる場所があれば良いと思う。
- ・身近な所で手軽に地元の食材が買えるようになると消費も増えると思うので、販売される場所を増やせるといいと思う。今は、野菜などの直売所までは遠いので、比較的近くにある水産物のお店で釜揚げしらすなどの海産物を購入することが多い。難しいとは思いますが、最寄駅に簡易的な直売所があると利用しやすいと思う。
- ・直売所が近くにあるといいと思う。
- ・直売店を多くしてほしい。

・買い物に行く際、子供と産地はどこ？など、気にしながら購入している。学校でも地域の勉強で色々と学んで興味を持っている様子。地産だと新鮮なので、野菜や魚なども食べやすい様なので、もっと身近にどこでも手に取りやすいようになると嬉しい。直売所ももっと増やして欲しい。

・直売所を増やしてほしい。旬のものを買いたい。

・直売所が駅近にあると良いと思う。

・販売所があれば（近くに）利用したい。

・販売店をふやしてほしい。

・販売所の充実。

・直売所の充実。

・「地産地消」に生産者・消費者・地球環境の3つに良いため、積極的に購入している。より販売所が身近に増えるといいなと思う。ぜひこの取り組みをこれからも加速してもらえたらうれしい。住んでいる街に愛着がわいたり誇りに感じる大きな1つになる。

・地産地消がより広がれば、生産者も消費者も良いことが多いと思っている。直売所が身近な場所に増えるといい。生産元が確かで安心でき、新鮮でおいしく安く購入できる。良いことしかない。

・直売所が身近にもっとあると嬉しい。市役所のところに週2で来られますが休日と合わずなかなか行けなかったり、午前中だったりで買えないことが多々ある。店舗などがあると大変嬉しい。

・直売所が近くにないので気軽に買いに行けない。

・農水産物の販売所を増やしてほしい。以前は駅の近くの販売所で（梨、柿、ぶどう等）販売していた。気軽に立ち寄り購入できる販売所を。

・近くに直売所がない。果物などもっと身近で買えると良い。

・直売所などが近くにないので手に入りにくく感じている。

・直売所などが近くにあって利用したい。イベントがないとなかなか購入する機会がない。

・もっと身近に露店等あってほしい。スーパーへ行くのは大変だから。

・年寄りなので遠くまで買物に行けない。近い所で直売所があったらと思う。

・地産地消は販売所を増やし、車がなくても行ける場所であることが条件。

・野菜はスーパーでいいが、魚介類は直売所のようにより新鮮なものを置いてあり、すぐ購入できるものがあるといいと思う。

・御所見地区に直売所がないので作ってほしい。もっと御所見地区の活性化をしてほしい。たくさんの高齢者が困っている。

・車で利用できる直売所や道の駅をもっと増やしてほしい。

・「わいわい市場」のような直売場が近くにほしい。

・道の駅の様なものを作ると良い。六会と善行の間に1ヶ所あるけどそうした所を作ると良い。

- ・藤沢（または周辺エリア）に道の駅を作ってほしい。
- ・藤沢市にも道の駅のような広い販売場があったら買いに行きやすい。
- ・道の駅が近くにあるといいと思う。野菜、果物、水産、花、植木、米等が買えたらいいと思う。
- ・藤沢は道の駅が不足しているので市内中心部と江ノ島近郊には作る必要もある。また、あまり地産地消に興味が無くても藤沢駅の湘南藤沢コンシェルジュの閉店はとても残念だった。
- ・藤沢市の北部に拡大な「道の駅」を作って藤沢産のみの農産物、水産物を販売するのもよいかもしれない。
- ・昨年東京都から藤沢市に引っ越しをしてきた。亀井野にあるわいわい市で毎週野菜や果物を購入している。新鮮でさまざまな野菜を摂取することができ、引っ越してきて本当によかったと思っている。あれほどの規模の店舗は藤沢市内で他にどこがあるのか知らず行ったことがない。もっと近い距離に同じ規模の店舗があると嬉しい。
- ・藤沢市場の開設。
- ・駅での販売など目につきやすい場所、見たくなるような場所での販売、ポップを利用すると良い。
- ・湘南台在住だが、たまにイトーヨーカ堂湘南台で実施しているようだが、車かバスでしか行くことが出来ず免許証返上の私には身近ではない。出来れば湘南台地下（アートスクエア）で定期的の実施して頂ければ有難い。
- ・市民センターとか集会所のような所で販売すればもっと近所の方も買いに行くし、地産地消について分かると思う。
- ・地産地消品を購入したいが、直売所は行けない場所で購入できない。スーパー内や市役所前、駅前コンコース（広場）などで販売を充実して頂けたら嬉しい。
- ・日本の四季をうまく使って人の集まる場所で販売、促進する。まだまだ活気に溢れる藤沢になる。
- ・主にご年配の方の購入について、購入したいと思っても遠くて買えない状況があるので、直売所を増やすのではなく、直売所の商品を、認知されている市民センターなどの既設市設備へ出向いて販売会を行うなど購入しやすい環境作りや、購入したものを配達出来るサービスをすることが活性化に繋がる。インターネットでの情報や活用、購入は、年配の方はネット環境が難しかったり、実物を見て購入したりするので、現時点では難しいのではと感じる。
- ・私は六会のわいわい市場をしばしば利用している。新鮮な野菜があふれる市場なので大好きだが、六会と湘南モールフィルの2ヶ所だけでは、少なすぎると思う。数ヶ所に分散して設置すれば消費者もアクセスしやすく、なじみができると思う。アクセスが悪ければ、消費者は買い物すべて済ませられる大型スーパーへ流れることになる。市役所前のマルシェもより大規模でもよいと思う。

- ・寒川の規模のわいわい市のようなものが近くに欲しい。
- ・わいわい市場等に人気があるようですが家から遠いので日常的ではない。
- ・わいわい市が亀井野にあるけど車がないので行かない。
- ・家の近くに「わいわい市」があり、よく利用している。土日は大変混み合っていて人気がある。
- ・JA 鶴沼、わいわい市場を利用している。週 1 位に JA 伊勢原あふりーな、JA 秦野じばさんずには買いに行く。
- ・わいわい市場によく行くが、新鮮な野菜や果物が、購入できるので気に入っている。子供たちには新鮮で良いものを、美味しい野菜や果物を食べさせたい。
- ・近所の米ディハウスを利用している。
- ・私は辻堂東海岸に住んでいるが、直売所は近くにないスーパー、コンビニ等でもたまに藤沢産を見かけるのみである。
- ・高齢（2 人共）になり、車も無く、自転車で駅まで時折買い物へ行く。わいわい市場などは車でしか行けず、年 2 回位近所の方の車に同乗して行くが、市役所等の広場でトマトや野菜、お肉の加工品等を買うのが身近な楽しみ。もう少し品揃えが豊富だととてもうれしい。（お菓子や洋菓子等も買いたい）
- ・野菜は藤沢市、寒川町の「わいわい市」で買っていたが、自動車を運転しない日常になってからは利用できなくなった。
- ・年寄りなので買い物の距離があると行けない。
- ・いろいろな地域の車（トラックなど）で行き販売したら良いと思う。
- ・高齢で車がないと買い物が不便。バスでの買い物は重さ等ある程度制限される。移動車での販売があると良い。
- ・家の周りには店がなく宅配に頼っている。
- ・私は遠藤地区に住んでいる。近くにお店が少ない。コンビニ等で販売してくれたら利用しやすい。足も弱く近くでの買い物しかできなく不便している。ローソン、成勢商店くらい。
- ・高齢になり「わいわい市」や「新鮮魚センター」などに行けなくなった。（交通手段がないため）交通手段が欲しい。
- ・市内北部に住んでいるため近所のスーパーや飲食店には藤沢に関する情報が少ない。
- ・私の住んでいるところは、不便なところで足も悪く出られない。近くには、野菜を販売しているところはなく、とても不自由に感じている。足の悪い自分にとっては陸の孤島である。近くには農地がたくさんあるのに買えるところがない。長後か湘南台まで歩いてゆかねばならないのはつらい。この高倉一体は農地ばかりなのに売っている場がない。まったく不便である。一番近いのは生協があるがそこでは絶対に買いたくない。私の住所一番近くにはいつも生協（coop）がある。とても頭にくる。（千駄谷 東中野）施策を推進するのであれば、公報・PR をもっと強化し、販売網の整備などへの財政援助を行うべき。

- ・農家の直売所も長後駅より南にありほとんど買いに行かない。サンハイツ渋谷あたりに直売所や出張直売日などの企画があれば買ってみたい。
- ・販売体制の充実。
- ・藤沢のタイトルでネット販売する。
- ・地元の農水産物が買い求めやすい環境になることを応援している。
- ・藤沢市の地産に対する取り組みは頑張っていると思う。個人的な意見としてはヨーカドー、オーケーなどの大型スーパーよりも地元の個人スーパーや小さな商店に置いてあると、地元感があって特別感あると思う。最近小さな個人店の八百屋さんがなくなっていくのが寂しい。
- ・平日は仕事をしているので週末に行くようになるが、午後になるとものがなかつたり直売所が閉まってしまうので農家も大変かと思うが前向きに考えてほしい。
- ・より新鮮な品物を購入できる店舗がたくさんあれば便利だと思う。営業時間も仕事帰りにはだいたいJA系の直売所は閉店で不便。買いたいと思っても、平日に夕方すぎしてしまうと買えない。日曜日となると大混雑していて、平日働いている人には、気が引けてしまう。
- ・現状でもある程度買えるが、もっと機会と商品数を増やして欲しい。特に海産物を。
- ・露地野菜をよく利用している。
- ・住まいの近隣にスーパーがたくさんあるが、他県のものばかりで最近スーベニールズがオープンしたので大変うれしく思う。
- ・辻堂神台に魚介類専門の市場があると嬉しい。地産地消では魚類の売り物にならないような魚も売る市場が欲しい。※もっと魚が食べたい。

【4 付加価値向上】

(1) 安全・安心

- ・個人的には価格よりも無農薬・減農薬・オーガニックだと少し高くても買いたい。
- ・農産物の農薬の使用状況がわからないので見える化して欲しい。
- ・地元産農水産物とっても親しみやすく食したい気持ちは十分ある。購入時に迷うことは、どの程度農薬など使用しているのかということと、自分の財布の中との相談。
- ・米、野菜、果物の低農薬、無農薬の推進と新鮮な魚貝類の提供、販売をお願いしたい。
- ・食の安全・・・これが私の最大の関心。毎日口に入れる食品が少しでも薬品を少なくして安全においしく食べられることを日々願っている。安全な品が「地産」品で手に入れば、これ以上の嬉しさはない。
- ・私は無農薬、低農薬にこだわっている。有機野菜をなるべく購入している。正直な生産者を選んでいる。藤沢産でそれがあれば購入する。食の安全は大事だと思う。

- ・近年加工食品には添加物の記載が殆んどされているが食材の原点である農作物を作る過程で使用される肥料、消毒等の記載はされていない。農作物の特に野菜等は生で食べる食材も多いので、公開される事をお願いしたい。農家には大変な労力のことと思うが、安心安全の藤沢産を作っていただきたい。
- ・お米の無農薬があればと思っている。今は宮城のひとめぼれ（有機）、新潟こしひかり（有機）を買っている。
- ・（23）の回答項目に「生産者が身近で安全、安心である」とあるが、近くにいるからといって作り方は見ていないので安全、安心かは不明であると常々感じている。下飯田の野菜直売所では「無農薬だ」と販売者から聞いているので一応信じてよく利用している。
- ・できたら、無農薬や低農薬のものを選んでいく。多少値段が高くても安全を選びたい。だから、安全なものを作ってほしい。
- ・小麦の殆んどがアメリカやカナダの輸入小麦だが、それらはグリホサートが使用されていてEUやその他の国では輸入禁止されているため、行き場を失ったそれらの小麦が日本には大量に入ってきていて日本人のガンが増えている原因の一つといっても過言ではないかと思う。私はもっと藤沢産の小麦で出来ている安心安全なパンが食べたいと思っている。お肉もアイガモ肉をつくっている石川地区のを購入しているがせっかく無農薬で作っていても厚木基地（米軍）からの汚染物質が気になってしまって最近では購入をためらっている。水質検査が行われているのか？
- ・藤沢の地元で生産される物は輸送コスト等軽減される為、より安価を追求し、地元でより多くの消費を促進させる様自治体と生産者がより連携をとり地元消費者への購買促進をお願いしたい。消費者はより新鮮・安価・安全性を常に求めている。
- ・藤沢産の野菜果物、花、植木、魚介等の情報が入れば新鮮な安全安心な美味しい品物が手に入るので大変良いと思う。
- ・農家の方の顔が見える野菜安心。
- ・個人的には、食品は安くて安全そうな物を優先的に選んでいる。
- ・形の良い悪いではなく、安全かどうか、が一番気になる。
- ・地産は信頼性があり特に食にこだわる赤ちゃんがいる世帯等では安心な地元産を消費することにつながると思う。

（2）新鮮な農水産物の提供

- ・新鮮で安い農水産物がもっと手軽に購入できるようシステム構築を推進してほしい。
- ・以前レタスを買ったのが、とっても固いので、もうレタスは買わないと思った。商品がよくないと躊躇してしまうので。
- ・食品は新鮮で害のないのが一番。
- ・野菜も高値が続いているため購入を控えているが新鮮な地元のものが手に入るなら、優先的に購入したい。

(3) 利用推進店の充実

・公民館でお弁当を買うが地産地消のシールが貼ってあり美味しい。我が家もコロナも落ち着いてようやく外食ができるようになってきた。地産地消をうたったお店を利用してみたいと思う。

【5 農水産業の維持・発展】

・藤沢市は第一次から第三次までバランスのとれた地域と思っている。この先もこのバランスを保ち、特に農水産物は注目し、生産者を守ることが大切と思う。北部は休耕地もあると聞いている。若い人たちがそのような耕地を利用できるようにマッチングの部門を市役所に開いたらいいと希望する。経験豊かな農業事業者とのかわりもできたら尚のこと良いではないか。商業地、住宅地は程々とし、地域の多方面での地産地消を目指すことは藤沢を豊かにし、またここで育つ子供たちにとってもいいはず。

・第一次産業が地元で安定して供給を続けていけるような制度の構築が必要。次世代の担い手にも困らないように。将来的な食べ手、買い手への教育も効果があるかも。例、小学生に対して農家、漁師、植木の働く現場を見せ、給食などで提供する、など。

・若い人たちに農業体験などしてほしい。安く、使っていない畑を貸すなどして農業、漁業がなくならないようにしてほしい。

・休耕地の活用。

・休耕地を活用してほしい。

・空き農地が多く見受けられるのもっと活用できたらいいと思う。

・放棄地など買い取って広い農地にして法人化して若い人を雇うなどしないとどんどんさびれてしまうと思う。

・今ある農地をむやみにつぶさず、守り農業を続けられるようにしてほしい。祖先の方々が苦勞して畑にした農地を大切にしてほしい。畑がなくなってしまうとは「地産地消」もできない。

・地域の生産者が負担なく生産していける方向に行政がフォローしていければ、もっともっと多くの藤沢産、国産のものが増え、安心安全につながっていくと思う。消費者は工夫して少しでも良いものを安心なものを選んでいけると思う。

・生産者への支援体制の強化。

・気象変動リスクに思う。藤沢産農水産物対応を、活動を10年、30年先を考えてしっかりやってほしい。

【6 情報発信】

(1) SNS

・SNS 発信など若い世代に広がるアプローチでもっと身近に藤沢産を感じられるとうれしい。

- ・SNS 頑張ってもらいたい。
- ・SNS をうまく活用するなど、もっともっとアピールしてほしい。
- ・YouTube に動画があるとアピールになると思う。
- ・「地産地消」をアピールする動画配信があればいいと思う。
- ・ネット販売が主流になりつつあるので、ネットで藤沢産についての情報を提供したり、SNS を使用しての情報提供も現代的で良いかなと思った。
- ・藤沢市という街が大好きで 20 年間過ごしてきた。藤沢市の地産地消に関して特に関心をもったことがなかった。若い世代ではやはり SNS の効果は絶大であり、市の観光スポットなどに関連づけて食品農産物の PR をしていくと良いと思った。市として持っているものは非常に多くあると思う、応援している。

（２） 広報ふじさわ

- ・市報をもっと活用、回数を増やす。
- ・子供たちが学校給食で使われている藤沢新米が大好きで、私も食べてみたいと思うが、どこで購入できるのかわからない。もっと学校給食で使われている食材など、学校だけではなく広報とかでも写真付きで知れたら嬉しいと思う。

（３） 市 HP

- ・市のホームページのリンクの仕方があまりよくない。
- ・今回のアンケートをきっかけに市の HP から特産品や農産物のページを見てみたが、特産品の紹介がなかったり、そのページにたどり着くのも難しかったりといった買う人視点の情報が得にくいのも少し残念だった。

（３） 求められている情報

- ・藤沢産の野菜などが食べたいが、どこで手に入るかわからない。もっとアピールしてほしい。
- ・藤沢産の販売所の情報（マップ 連絡先等）。
- ・販売先などがわかると有難い。
- ・店舗情報が少ない（自分で発見して購入するしか方法ない）。
- ・何処で販売しているか情報が伝わっていない気がする。
- ・地産地消の商品には興味があるがどこに売ってるのかよくわからない。行ったお店に売っていたら手に取るし、買いたいと思うので商品に辿り着ければ買う。
- ・無人販売の情報なども知りたい。
- ・販売情報の充実。
- ・移住して来たばかりで、藤沢市がどのような農水産物に力を入れているのか知識不足なので、例えば見学可能で直売場がある農園や、牧場、港に関するパンフレットや情報があれば利用したいと思う。

- ・藤沢市で生産していて、小売りしている農水産物のリスト、購入できる場所を広く告知してほしい。
- ・六会地区に住んでいるが、「わいわい市場」以外の小さな直売所の情報（地図含む）があれば、積極的に、「地産地消」の活動ができると思うので、検討して実施をお願いしたい。
- ・藤沢産の農水産物をもっと知り、手に入る手段が分かるようになれば良いと思う。
- ・野菜の取り組みは時々目にするが、水産物はどこで活動されているのか、販売されているのかも残念ながらわからない。もっと広くPRしてほしい。事業の発展を期待する。
- ・藤沢産を利用した店の情報提供。
- ・藤沢産の食材を使っている飲食店など案内いただけるとよい。
- ・藤沢の特産品を周知してほしい。
- ・野菜や果物以外の藤沢産の食べ物は何があるのか情報をもっとあると良い。
- ・藤沢市の農水産物にどのようなものがあるのかももっと知りたい、湘南台に住み始めて情報が少ないのでそう考えている。お店によってはしおれた野菜等も見かける。
- ・周辺で手に入る農産物には詳しいが、少し離れるとわからなくなるため、もっと情報が欲しい。
- ・藤沢産のものをもっと活用し、広めてもらいたい。（飲食店など特に）身近なものとして鎌倉野菜、みやじ豚があるが、まだまだアピールできるものがあると思う。
- ・引っ越してきたばかりのため、何が藤沢の特産品・農水産物かが詳しくない。より藤沢の美味しいモノが分かれば、プレゼントなどにも使えるので情報の場が欲しい。
- ・地元産食材を使ったレシピ動画等観てみたい。
- ・地産地消につながるのかわからないが、よく行くスーパーに地元の農家の野菜が名前入りで置いてあるが、使った経験のない野菜が多くある。切り方や調理の仕方のメモを入れてもらえると冒険して買ってみようかと思う。わざわざ検索するのなら食べ慣れたものでいいやと購入を止めてしまう。
- ・地元の野菜を買ってみようかと思うこともあったが、調理方法がわからず諦めてしまうことが多いので、簡単なレシピなど添えてあるといいなと思った。
- ・私は野菜が得意ではないのでそんな人でも食べられる料理とかお菓子を紹介してくれたら買いたいなと思った。野菜にその料理の紙をつけてみたりとかもいいかなと思った。また、地域の学生が手伝った野菜やお菓子を見ると学生の自信にも繋がり地域との関わりも出来て良いと考えた。それと共に乳牛を育てている農家さんが居たらソフトやジェラートを作ることが出来たらあまり嫌いな人がいないと思うので人気が出ると思う。
- ・外国人に対して「地産地消」の情報について外国語で広報してほしい。
- ・地産地消であることと同時にできるだけ農薬や添加物を使わないものを求めている。そこへの取り組みの表示や読み物などがあると嬉しい。

(4) その他

- ・ネット見ない。
- ・インターネットや SNS に頼りがちであるがこれらを苦手とする世代を動かすことがポイント。
- ・TV 神奈川の‘かながわ旬菜ナビ’を毎週観ている。鎌倉市は多く上げられている印象がある。藤沢市ももっとアピール、頑張ってもらいたい。
- ・プレス工業がニューイヤー駅伝、出場決めたこととても嬉しく思っている。メディアで藤沢市が紹介されることがあればそういう時に少しでもアピールチャンスつかめるとよい。
- ・地域の新聞にもっと広告を出す。
- ・マスコミなどプレスリリースを積極的に行う。
- ・情報誌、ラジオ等で生産者さんの声をもっと聞かせてほしい。
- ・地産地消、様々なメディアで情報を流せばいいと思う。インターネット、地元 FM ラジオ情報番組など。
- ・チラシや情報を出す際も藤沢にいる Web デザイナーの方や学生、やってみたい方ができる形にしたら地域の活性化に繋がるのかなと感じた。それとどんな地区にも同じように情報が届きやすく体験等ができる環境が出来たらいいなと思っている。
- ・口コミが必要（アンテナショップ）
- ・以前、鎌倉市に住んでいたが「鎌倉野菜」は飲食店でも積極的に取り入れられていて、市場で手軽に買えたり、スーパーでも普通に並んでいた。せっかく沢山の農産物があるので、魅力を伝える発信力を高め、広まってくれたら良いなと思う。
- ・まだまだアピールが足りないかと感じる。消費者としては積極的に購入したいと思っている。
- ・藤沢産のアピールが少ない。
- ・宣伝が足りない。
- ・あまり知らされていないように思う。
- ・地産地消は、住んでる地域を応援したいという意識のほうが強いように感じる。なので、アピール（認知度を高く）をもっとすれば手にとってもらえると思う。
- ・地産地消の推進はよく見聞きするが、直売所が少なく、PR 不足なのか目につかない。
- ・藤沢市の地産地消への取り組みは認知度が低いと感じる。現在、多くの人が目にする機会は駅かインターネットだと思うのでその二つを重点的に活用するのが良いと思う。名店ビルで再オープンするようだが、駅のコンコースにある意味は大きく、名店ビルの場合には興味がある人しか行かないのではないか。以前のコンシェルジュのような立地、印象で、もう少し道の駅のような活気ある売り場作りを取り入れるのが地産地消についての最適解ではないか。
- ・このアンケートをするまで地産地消を推進していることを知らなかったのも、もっと町の人があるところや場所に地産地消のポスターを貼るなど、まず色々な人に知ってもらうことが大切だと思った。

- ・地産地消の情報提供を積極的にして欲しい。
- ・水産物がせいぜい小田原あたり、たまに湘南朝どれもあるが、藤沢でとれたのか不明。アピール不足でもったいない。
- ・藤沢産の情報。広報の充実をさらに進める。
- ・藤沢産の特徴（いい点）の情報提供を充実させる。
- ・藤沢産の情報へのリンクをゴミ出しの HP とか様々なところに置いてほしい。
- ・地産地消についての市民啓発が足りないと思う。行政サイドでの取り組みを期待している。
- ・紙やネット等の情報活動も否定しないが、もっと直接的な活動や、寄り添う活動をしないと宣伝だけして待っている等の思考ではもう古いのでは？時には市民に無料でふるまう企画が多くあっても良いのでは？
- ・アンケートに答えて、藤沢産の食品についてあまり知らなかったこと、スーパーなどで選んで手に取らなかったことに気がついた。歩いていると農家をよく見かけるし、果物の無人販売をしているところもよく見かける。これからは食事に藤沢産のものを積極的に取り入れたいので、情報をたくさん教えてほしい。
- ・行政が地産地消を CM するのは良いが、税金を使用しすぎるのはどうかと思う。
- ・地元生産者→販売店（所）→消費者 と出来るだけ JA 等を経ないで価格を抑え、鮮度の良さをアピールする。

【7 購買欲促進】

（1）農水産物の価格

- ・スーパーの藤沢産野菜は、高価なものが多い。自然に安い方を購入してしまう。
- ・価格の比較で安いほうにしてしまう。どちらかという安いと感じない。スーパー等では新鮮さもそれほど気にしない。
- ・価格が高いと思う。
- ・「地産地消」の本来の意味は新鮮なものを安く消費者に売ることができ、産業の発展に寄与するという解釈で捉えているが、実態は必ずしも新鮮、安い、中間マージンとらない流通短縮とはなっていないのではないかと？途中で農協や漁協の仲介手数料が必要だったり、市場で他府県の製品と競争に負けるなど考慮に入れなければならない。地産地消の目標は生産者が直接消費者に自分のコストと利益を上乗せして売ることだと思う。「地産地消」は全国どこの都道府県もやっているのに競争が激しいことを意識するべき。
- ・輸送費や人件費が少ないことを考えるともっと安くなるのではないかとと思うが、他産地の農水産物とそんなに変わらない価格かそれ以上なイメージ。
- ・私は国産にこだわって食材を選んでいるため藤沢の品が安くて手に入るのならうれしい。

- ・地元のものだから、地元の人が手に取り、購入する時代ではない。物価が上がりすぎて1円でも安いものを買う毎日。今PRしたいなら、値段を下げる以外ないと思う。広告費などを値下げした分の補填をするべき。
- ・価格が安ければ自然と購入者が増える。
- ・地産地消はとても良いことなので応援したいと思っているが、価格が安いのも大事だと思う。近距離なのになぜこの価格？と思うときもよくある。宣伝や直売所を増やす等良いとは思いますが、もし実現するにしても市民に費用の負担を求めるようなことは避けていただきたい。徒歩圏内で新鮮でお手頃価格のお野菜等が買えるならば皆喜ぶと思う。
- ・何でも値上がりしている昨令「安さ」を強みにしていかなないとなかなか推進できないと思う。
- ・売場の野菜や魚より藤沢産の方が高い。もう少し料金設定を見直してもらえれば、もっと積極的に購入しようと思う。美味しそうで食べたいなあとは思いますが高くてもあきらめてしまうことがほとんど。
- ・地産地消なら他の産地物より、安くするとか工夫が必要。
- ・地元消費を考えるのであれば、色や形（野菜の場合）よりも値段が安ければ買う。味がよくなければダメだが。
- ・地の利を活かして、新鮮、安価が一番だと思う。
- ・地元の物が品質よく安く購入できるような工夫も必要では？
- ・物価高で産地にこだわっているところではないのが現実。低価格で売れるようにならなければ「藤沢産」はあまり広まらないと思う。味の違いはわからない。だから、低コストでたくさん作れて、低価格を売りにしていったほうが広まるのでは。
- ・地産の農産物は他県の物より高い。
- ・地産品は価格が高く購入したくても出来ない。
- ・魚介もっと安く手に入ると良いと思う。
- ・価格がリーズナブルでないこと、千葉産とかでも良いのかなと思ってしまう。
- ・物価高の折価格のことも大切。
- ・近くのスーパーに地元野菜を作っているが価格が高い。皆さんも手に取るが購入に至っていない「訳アリ品」「小さい大きい」などの品をスーパー並の価格出せば無駄の減少の購入高が増加する。
- ・地産は新鮮でおいしいものが多いけど、小家族で、年金暮らしでは手が出せないものが多く感じられる。
- ・地産地消については地域の活性化等を考慮してスーパーで購入するようにはしているが、輸送距離が短くなっているからコストがその分わからずに安いのかなと最初は思っていたが、意外と高い（安くはない）んだなと感じている。
- ・サンパール広場のイベントはお値段がとても高く感じる。

- ・地域の生産品を買いたいと思うが、スーパーなどは同程度のもので（他県産）価格が高いように感じる。
- ・スーパーの一角によく藤沢産の食材を見かけるが、値段は思ったより安くない。
- ・地産がブランド化されてない限り、物流コストを抑えた事による価格のメリットがなければ消費者は敢えて買わないと思う。地産品目の周知及び価格面でのメリットの付与が必要だと思う。
- ・大きな価格差がなければ、できるだけ地元のものを買いたいなと思っているので、地産地消が推進されると嬉しい。
- ・気になるのは価格と鮮度。地域の物だと二つをクリアしてると思う。
- ・藤沢が好きで地元を大切にしたいので、できるだけこの取り組みに参加したい。しかし、これだけ物価が高騰している今、結局は価格が安いものを購入する人が多いと思う。農家が困らない程度に価格面を抑えるよう頑張ってもらいたければありがたい。
- ・地産地消について関心は高いが直売所の商品の値段が高く感じ、利用しなくなりました。スーパーマーケットなどの地産地消コーナーは割と安価なので利用している。品質とコストが見合っていれば他県のものでも良いと考えている。
- ・値段がほかのものとは比べ、安ければ買うと思う。あまり違いを感じない為、手に取らないことが多い。藤沢ならではのアピールポイントや、地元で買うことのメリットがもっと多ければ買う人も増えてくると思う。
- ・ありとあらゆる商品が値上がりしている今、他の地域（スーパー等で取り扱っているもの）の同商品に比べ割高だと正直手が出ない。新鮮でおいしいだろうとは思いますが。
- ・以前山梨のコンビニで地域の野菜・果実が手ごろな価格で売られており、とても魅力的に感じた。若い方も手に取りやすいと思う。（店の入り口の脇・見つけやすい場所）
- ・条例や計画を策定され努力されていることを知らずにいた。いい取り組みをされているのもっと消費者に近い立場での推進をお願いしたい。また、露路販売は安く購入できるが直売店では品物は良いが、スーパー等に比べ高価であり購入しにくく感じることもある。物価高の今、価格ありきに考えて購入するので新鮮で安く買えることを考慮してほしい。
- ・農協の直売所にも行くが、物によっては周りのスーパーよりかなり割高な場合が目立つ。地産地消だからといって強気すぎる価格はブレーキにしかならないのではないかと。流通経費や途中マージンの減を還元すべき。
- ・スーパーなどでほしい食材がほかの産地のものと同じ値段であれば間違いなく地元産のものを買うと思う。毎日のように消費するものはあまり高い金額で買おうとは思えないので。
- ・藤沢産の物が他府県産よりも安いことが比較できれば、喜んで購入したい。
- ・藤沢産の農水産物を利用したいと思うものの、残念ながらスーパーで見ても価格が安いと特別感じない。

・物価高騰の中、価格面重視になることは仕方がない。業務スーパーで売られている商品に国産はなく外国からの輸入が殆どで安全性には不安は有るが、国産品は高価であり高級なイメージ。

（２）規格外農水産物の販売

- ・規格外の野菜など、味に問題なければ少し安くして販売してほしい。
- ・農協の販売店へ週 1～2 回出かけるが物価高騰の折、B 級品の野菜を出荷してもらえると年金生活者には大変助かる。
- ・飲食店向けに商品化しやすい価格帯で、破棄されてしまうような野菜 B 級品を仕入れられるような取り組みを、商工会等が生産者と飲食店事業者を繋いでもらえると嬉しい。
- ・どちらかと言うと B 級品を主に販売して、通常品は常に販売されてると良い。地産と言っても安いイメージが無いので目立たない。
- ・農家の方々は日々大変な苦勞をして野菜を作っている。この天気で形が変なものや虫食いも多くあり、廃棄するものも増えていると聞く。きれいなものばかりでなく、無駄をなくすようなウィンウィンの形ができるシステムがあるといいと思う。大きいほうれん草はバター炒めすると食べ応えがあるし、大根の間引き菜は塩漬けでとても鮮やかな緑で柔らかく、そんなおいしさをたくさんの人に知ってほしいし、活用してほしい。
- ・形がよくないとか三流品でもお安くしてあれば喜んで購入する。
- ・消費者としては、新鮮で美味しい食材が身近で入手できるのでありがたい。B 級品などの安い物もあり楽しみ。まずは美味しいのが一番。
- ・色や形など規格が厳しいせいで、食品ロスが増えてしまっているのではないかと思う。食べればおいしいことには変わりはないので、もっとたくさん消費できるように規格の見直しが必要だと思う。→難しければ規格外の野菜などを手軽に買える場所が増えてほしい。
- ・藤沢産の野菜はほかの域の野菜と比べると値段が少し高いように思う。
- ・「見た目が悪いけど無農薬でまあまあ安い」野菜があるといいと思う。

（３）その他

- ・藤沢産の購入者に特典を付ければより買う人が増えるのではないか。
- ・正直、藤沢市の食材の何が強みなのか理解できていない。他には、藤沢市内で取れた食材を購入したらポイントがついたりしたら、自然と手が伸びるのではないか。お得感が出て自分だったら買う。

【8 その他】

（１）アンケートに関する記述

- ・アンケートの結果を知りたい。
- ・アンケート結果はホームページに限らず「広報」でも掲示してほしい。
- ・Q24とQ25の差異が分かりにくい。
- ・アンケートに答えた特典で藤沢の野菜などをプレゼントしてくれたらとてもうれしいし、藤沢の野菜のおいしさを伝えることができると思う。
- ・記名して意見を書きたい人もいると思う。名前を書きたい（ぼんやりと）人の記入場所も設けてはいかがか。
- ・メールでアンケート調査してほしい。
- ・私は普段自分で食料品を買うことがないので、アンケートの意味がないと思う。自分で購入するという前提から見直すべき。あと、アンケートを有益な調査にしたいのであれば、無償で回答させないほうが良いと思った。そもそも回答自体が少なそう。
- ・（３）の地域がわからなかったので地図などがほしい。
- ・アンケートの対象者は普段からスーパー等を利用している主婦層に絞ったほうがより正確な回答を得られると思う。ちなみに私は会社勤めで日々の買い物は妻に任せている状況。

（２）その他

- ・地産地消をすすめるならば、消費者がわかりやすくメリットに感じるものがあると良いと思う。地元のものだから「安心」、「新鮮」とか、高いけど「無農薬」とか。スーパーで無農薬野菜はほぼないから、そういうところで売り出すと、子育て世代等購入するんじゃないかと思う。消の情報が知りたい。
- ・商店街で農水産物に関係のない店を営業している。「直売所」の文字がこのアンケートで何回も出てきますが店舗を構える業者との疎通をお願いしたい。シャッター通り商店街にしたいくないので。
- ・藤沢市の地産地消推進計画を効率よく進めるにはまず藤沢産の野菜の存在を幅広い年代の人に認知してもらおうと藤沢産の農水産物が地域で根付いて行くと思う。
- ・市内で耕作放棄地が増えていると聞き心配している。生産者の努力苦勞が報われるようなシステムができることを願っている。日々の暮らしが精一杯で食費を少しでも抑えようとする家庭が少なくない現在、「地産地消は大事、生産者を応援しよう」という理想だけでは支える力長く続ける力としては弱いと思う。でも、アンケートを参考にして地産地消を進めようとする動きは素晴らしいと思う。人口の多い藤沢市のようなところほど農水産業が栄えてほしいと思う。
- ・生産者と市民のつながり皆さんのきっかけを増やしたい。

- ・藤沢 = 住宅地の印象が強く、生産された農産物に地方の農産物に地方の農産物と比較しての有意性があるのか、高いのか、思わず購入時に考えてしまいあまり選ばないかもしれないなと、アンケートに答えながら考えていた。
 - ・地産地消は藤沢市が先頭を取り知恵を出して進めてほしい。アンケート全体がどこかで他人事のような（やってくれないかな）項目が多すぎる。流山市は調べられたかもしれないが市がボランティアを育て自主的に販売しているいい例だと思う。定年後に意気に燃えてやってくれる人が中心になりいい結果を得られると思う。
 - ・地産地消は、地方レベルで考えてはダメ。藤沢は都市なのだから、全て消費されるのは当たり前で、高単価で美味しいのが絶対条件。生産能力、固定資産税、市民の嗜好を考慮すれば当たり前でなければ、継続性はない。
 - ・藤沢産、という事ですが行政区分によって分けるのも視野が狭いです。茅ヶ崎市や鎌倉市は隣ですし、「地元」というなら得意分野地産地消でもっと協力したらどうか。
 - ・この地域の「地産地消」という場合藤沢市に限定すると考えにくい。「地産地消」の範囲を「日常食べている農水産物の一定割合以上が藤沢市を含めた近隣市町の中で生産され消費されるもの」とでもすべきではないか。
 - ・50年前に越してきたとき、周りはすべて農地だったが、今やすべて宅地となってしまった。この状況を見ると藤沢市の「地産」がどのくらいあるのかもわからない。後継者がいないことや相続税の問題だそうだが残念。若い人達がかっと土に触れる機会が増えると良いのか？とか、一般の人たちが利用できる市民農地が増えると良いのか？とか日頃考えているが、エントリーが難しかったり競争倍率が高かったりすると諦めてしまう。定年した老人も若いファミリーもひきこもる人たちも好きな時に参加できる畑があればいいのになど勝手なことを考えている。まずは「作る」ことを知れば自然と「地消」につながるのではないか？
 - ・地産地消がもっとも理想的な形状。流通コストが低い新鮮なものが消費者に短時間に届けられる。なぜそれが実現できないのか？担当者は直ちに反省し対応に論議を尽くすべき。
 - ・地産地消は地元の活性化のために是非応援していきたい。流通のコストの軽減も大いに期待する。今後益々藤沢市が発展して住みやすく安心安全の街づくりに向け頑張っていたきたい。
- ・農家の軒先で売っているものを散歩の途中購入したり、地域の市民センターの前で販売している農作物等を購入したりしている。帰り途中野菜や果物を持っていると「いい野菜、どこで売っているんですか？」とか聞かれることが度々ありもっと宣伝したりチラシを作ったりすると藤沢の農作物の良さが広く伝わるのではないかと思う。花屋さんも（ポット 切り花等）何を売っているのかわからないので直接行って聞くようなこともある。歩いていてハウスの中に咲いているものを見ても、どこに行ったら「買えるんだろう」と思うこともある。どうしても欲しいと思うと近くで声をかけることもあるが農協に納めているからや店に出しているからだ

けでなくもう少し直接‘売る’ということも考えてもいいのかなと思う。（直に売ってもいいのでは・・・）

・間近の地域の食物を新鮮な状態でいつも食べられることは健康的にも地域の活性化、生産者とのつながり親近感にも大変意味のあるものと思ひさらにおいしく頂けるように思う。身近に畑ある環境も大切だと思う。大いに地産地消を奨励して貰いたい。

・回答に「身近だから安心」とあるが「身近だから安心」という安易な考え方は疑問しかない。流通コストがかからない分新鮮なものを安価で！ということは賛成できるが、スーパーなどで見かける「藤沢産」の野菜などは他産地の野菜に比べ割高で売れていないので新鮮さもない品が多く、買って帰ろうと思わない。わいわい市も利用するが品ぞろえの幅が少なく、不満である。そもそも藤沢市に住んでいて、藤沢といえば！が`しらす`くらいしか知らないし、不漁で買えないことも多い。条例が制定されて計画が十数年前から取り組まれているのに知らないことが多いこと。その時点でいろいろ失敗していると思う。農産物、水産物、加工品等ふるさと納税の返礼品として全国的に人気になるような産物への取り組み、農家さんの頑張り大切だと思う。藤沢に住んでいるからこそその地産地消。住民が買いたくなるような住んでいてよかったと思えるような産物を期待している。

・地産地消と聞くととても耳障りの良い言葉に聞こえている。実際に購入する場がなかったり食べられる場所が限られていたりと生活の中で取り入れるのは様々な理由からハードルが高いのでは？と感じてしまう。東北などにある道の駅の様な利用しやすい交通網や場所、環境があれば現実的なのところも感じるが、藤沢市内において実施するには直売する場を作る管理するそこへ行く等多様な要因で実現が難しいのでは？とも思う。藤沢市で地産地消を進めるためには大手スーパーなどの販路の整備が必要だったりこれもハードルが高い気がする。

飲食店、給食や食堂での利用で自然と地域の食材にふれあえる手段の模索が早そうに感じる。藤沢市の『地産地消』で何を目的として何の為に市政として推し進めるのかももっと明確に知りたい。書類に記載のあった『藤沢産農水産物の魅力』とはどのようなことなのか不明瞭に感じる。

・異常気象等で生産者も大変だと思うが私もできる限り応援していきたい。

・地産地消知らなかった。これからは積極的に購入していこうと思う。

・藤沢は農・水産・畜産物が豊富で地産地消を勧（進）めるのに適した市と思う。市の今後の取り組みに期待している。

・「藤沢のだー」とロゴを見かけると手に取るようにしているが、いざアンケートになると何を手に取っているのかモノまで思い出せなかった。それだけ身近なのかな、とも思っている。7年前に県内別都市から越してきて、食品の産地がガラッと変わった感覚（県内産野菜が手に入るチャンスが多い！）があって、藤沢で手に入るモノになんとか誇りみたいなものをもっており、信頼感もある。小田急から畑がいっぱい見えるし・・・アンケートを通して「何を」手に取っているのか意識してみようと思えた。

- ・恥ずかしながら地産地消にあまり関心がなかった。たしかに地元の発展にもつながることなのでこれからは気にしながら買い物したいと思った。
- ・地産地消を推進することは大切なこと。今、日本は輸入にほとんど頼っている。これからの特に農業がどうなっていくか心配。なにせ日本は色々な面で後退しているように感じる。
- ・これからも地産地消に関心を持って買い物したいと思う。
- ・ロゴマークを見かけ購入したりもする。新鮮だし、珍しい野菜だと店員さんに作り方を聞いたり…学校給食でも積極的に地産地消を取り入れており、子どもからも藤沢の野菜だよ！と話をしてくれる。子供と一緒に買い物へ行ったときはもっと「地産地消」の話をしたと思う。
- ・地産地消についてのアンケートを書かされたことを気になったが、特に一番見られていくのは人の健康。きちんと栄養を取り入れていないことがいくつかあるが、地産でもほかの違う産でもみんなに楽しく安心して食べ物をとって生活をしてほしい。
- ・地産地消には基本的に賛成。生活するうえで値段とも相談せねばならないのである程度産地は考慮するが、藤沢産にこだわって購入することはない。藤沢産の良い品質を作る農家さんのものは多少高くても買うようにしている。結局どれを買うかは値段と品質の絡みで決定していると思う。
- ・地元のをできるだけ意識して協力していきたいと思う。
- ・地元の農家を応援したいと思っている。
- ・地産地消では「おいしい」ことが重要だと思う。
- ・私は野菜ソムリエ、フルーツマイスターで、藤沢産の野菜、フルーツは今まで多く使用している。レストランを営業していたこともあり特に関心を寄せている。これからも藤沢産を応援したい。
- ・近所のニコラで地産地消を知った。地元の梨がとてもおいしくて、梨を買いに行ったほど。
- ・新規就農者も少しずつ増えてきているので藤沢市の農業が活性化するよう応援したい。
- ・大学の授業で農業や酪農について調べている時にアンケートが来たので藤沢の地産地消について調べるいい機会になった。藤沢産農水産物について理解が深まり地産地消されて行ければいいなと思った。
- ・アンケートに回答するだけでも意識がとても変わったと思う。たまに地域のお祭りを除くと農家の方々が直接野菜の販売をしていたりするのを見ていたのもっともっと身近（スーパーやコンビニなど）で藤沢産を目にすることができたらいいなと感じた。学生から社会人にかわっていくと地元の話などをすることが増えるからこそもっともっとこの取り組みが広まっていたらいいなと思う。
- ・藤沢は海が近いので、地域の活性にこのアンケートが役に立つことを願っている。
- ・地産地消のことを考えたことがなかったので、売っているところを見かけたら積極的に購入したいと思う。

- ・地域の生産者さんを応援していきたい。
 - ・食に関すること、調理に関すること特に気にしている。このアンケートに記入できたこととてもいいことだと思った。
 - ・まだ、食べていないものがいろいろあるのでこれからいろいろと買い物して食材も買い揃えて楽しみたいと思う。
 - ・意外に気づかないだけで藤沢産のものがたくさんあってびっくりした。新鮮で見かけたら買うようにしている。
 - ・地域の生産者の方の助けになりたいし、地域の活性化も願っている。日本の食料自給率アップも。
 - ・地産地消としては国産（日本産）には気にしていた。地域としては考えなかった。今後は地域のものについても気にしていきたい。
 - ・応援している。協力して盛り上げていきたい。
 - ・藤沢産を応援していきたい。
 - ・聞いた事、見た事はあったが気にした事が無かったので、これを気に少し意識してみたいと思っている。
 - ・いままで地産地消をあまり意識していなかったが、これからはもう少し意識していこうと思った。
 - ・現在84歳遠くに買い物に行くことができないので生協の配達などを利用しているし量も少量なので大して役に立たないができる限り「地産地消」を心がけたいと思う。
 - ・藤沢産の美味しいものたくさんあると思うので市民としては応援していきたい。
 - ・今後も積極的に推進してほしい。
 - ・神奈川県産という意識はありましたが藤沢産をもっと意識したいと思った。
 - ・藤沢市が大好き。藤沢市で地産地消を応援する。
 - ・藤沢でずい分、地産地消について取り組んでいると思っている。学校でも積極的に取り入れているようですし、江の島あたりの観光地の飲食店でも藤沢産の食品素材がボードに掲げられていてわかりやすい印象を受けた。これからも積極的に藤沢祭りのイベント等の仮設ブースでの販売等も楽しみにしている。
-
- ・地産地消は地域の農産物の振興につながり大いに向上させてほしいと思う。5年前自分でもちょっとした野菜に挑戦したく少しばかりの土地は買い今は大根、ほうれん草、キャベツ等夏はたくさんのトマトが取れスーパーで買うより本当においしさを味わった。これらの地元の方の生産したものが地元の方に喜んで消費していただき地域の向上につなげたらどんなに素晴らしいか期待している。直売所もよく利用しているが本当に良い。生産者の交流なども良いことだと思う。
 - ・昨年藤沢市に越してきたばかりなので、これから少しずつ特産物について知り、地域の活性化に貢献できるような行動ができたと思うキッカケとなった。

・「地産地消」について、人にも環境にも優しくてすばらしい取組だと思う。生産者の方々に感謝していただきたいと思う。

・身近に手軽く地産地消の製品を手に入れる場所が多くできることを願っている。特に野菜果物等日常に多く使われているものについて、このアンケートを記入している途中で買い物に行くことがあり、自然と「藤沢産」ロゴマークを探していた。最近になって旬のものや「地産地消」に興味を持つようになった。

・川崎市高津区より本年1月に転居してきたばかり。藤沢市のことは入手、配達される広報紙はほぼ目を通してはいるが、まだよく理解できていないが、川崎市よりも藤沢市は野菜、果物、水産物の豊富な土地であることがわかった。住民が地域活性化に協力していることは、半年の間によく理解できた。今後は地場の農作物や水産物で食生活は賄いたい。

・息子が小学校の授業で米作りをしたのがきっかけで藤沢産のお米を初めていただいた。とてもおいしく我が家のお米はそれ以来藤沢産。これからも家族で美味しく頂きたい。

・このアンケートは初めてだが、地産地消については多くの取り組みがあることを知った。

・藤沢はわたしの自慢のふるさと。

・以前は東京に住んでいて、地域のもを買うということは意識してなかったが、藤沢に引っ越してきてから、地域のもを食べることを意識している。もともと実家は藤沢で、実家では藤沢産のもを食べることが多く、野菜など美味しいし安いなと思っていた。大学で地域活性化などを勉強していたこともあり、地産地消には興味があった。海のもも野菜もおいしい。

・このようなアンケートの機会があって、藤沢産の農水産物に対する意識、認識があがった。

藤沢で地産地消の動きがあったことを把握していなかったので、今後積極的に広報宣伝していくべきだと思う。個人的には応援したいと思っている。

・地域活性応援している。

・地産地消応援している。しかし、野菜に関しては近くの市よりも味がやや劣っている気がする。藤沢市産の野菜もどんどんおいしくなるよう応援している。

・地産地消のことはそのもの知っていてもこのアンケートのように具体的と考えやすい。地産地消に興味を持てた。

・「地産地消」に大賛成。生産者と近く、顔のみえる安心感があるし、環境への負荷がかからず、良いことばかりのような気がする。

・地産地消知らなかったのでアンケートで勉強になった。

・今後の日本にとって地産地消は生活環境、地域経済に大切なことだと考える。

・地産地消というと先ず安心感があります。

- ・これからも藤沢産のものを食べていきたい。そのために、藤沢の生産者の人達が安心して生産していけるような取り組みを期待する。生産者と消費者、特に子どもたちとの交流や給食での活用などで、子どもたちにも藤沢の生産者の人達を支えたいと思ってもらえるといいなと思う。(うちの子供が農家さんとの交流でそう思ったらしい)
- ・野菜は地産を多く利用している。魚貝類は少なく、江の島産は少ない。湘南より静岡産のシラスが多く、残念。
- ・藤沢市の農水産物は？と問われると海が近いイメージなので魚介類のイメージはわくが農産物のイメージがない。
- ・湘南しらすは、湘南だとスーパーですぐ手に入るだろうと思っていたが、実際には愛媛とか結構離れた地域のものばかり。湘南しらすはどこで手に入るのか？と疑問に思っている。観光地だけでなく、日常生活でも手に入ることを望む。
- ・就労の都合で藤沢市に暮らしているので外から来た人間にとっては何が特産物なのか不明。スーパーでは大和豚のほうが目立っている。
- ・湘南地区の魚貝類を販売しているところが少なく海に近い地域とは思えない。
- ・水産物の「あじ」など時々ほしく思うが、近所でいつでもどこでも買えるわけではないで残念。
- ・藤沢産の野菜や肉がもっと食べられるとうれしい。各地域で頑張っているものを藤沢市全体で応援できるような横のつながりが欲しい。
- ・場所によってはお米等おいしさを改良（硬いものでした）。
- ・野菜の味が違うため、他県の品を買い求めることが多い。
- ・3年前に南足柄から藤沢に引っ越してきた。前は近所にスーパーが一つしかなくて、選べなかったが、今は駅前に住んでいるため、食品スーパーの広告がたくさん入る。買い物も楽しい。
- ・湘南野菜がおいしい。特に藤沢のトマトが美味しい。
- ・近所の農家で農作物を直売しているのでよく利用している。
- ・近在にスーパー、JAがあるので嬉しい。
- ・シラスはよく買いに行く。
- ・地産地消以外はあまり購入しない。
- ・私は70歳代だが、まだ毎日仕事に出かけて、買い物をする時間帯、7時まで職場にいたので職場の近くの小売店で野菜などを購入している。藤沢は海が近くにあり、農業もかなり行っているので仕事を辞めたらもっと地元の食を楽しみ、「地産地消」を推進したいと思う。野菜はできれば有機野菜を購入したい。
- ・片瀬海岸の漁港へ魚を買いに行く。楽しく買い物できる。
- ・地元でとれた野菜や果物は新しいと思うし、しらす、かまあげしらすは体や骨にもよいと思って週1回は食べている。地産地消の食べ物が多くあると、水害や災害にもみんなが困らないで済むと思う。

- ・藤沢市の直売所などよく使いますが新鮮で安くてとてもおいしく食べれる。
- ・農協経営のわいわい市場に週 2 回ほど行って、地産の農産物を求めている。最近はお米も地元のもののおいしくなり、たくさん購入するようになった。
- ・11/3 本鵠沼で地のトマトいただきおいしくてびっくりした。商店街のイベントで 1000 円以上買い物した人に近くの農家さんからとのことだった。
- ・多分藤沢で生産されたものと思われるのは時々買っている。
- ・近所では農家さんが 100 円やサイを売ってくれるので、旬のお野菜が新鮮な間に食べられることがうれしい。
- ・とくにありませんが地区の野菜、その他には採りたての農家が直接家の前で販売しているのはとてもおいしい。消費税かかっていないので 100 円玉 1 つで形は悪いが買うので助かっている。味は良い。
- ・市民会館のレストランでテレビ放送をしたときにテレビを見たのでその時知った。
- ・家庭農園を少しやっている。すべては賄えないのでスーパーで買うこともある。
- ・サラダや鍋物に向きそうな野菜セットの販売があったらうれしい。
- ・藤沢産農水産物の積極的な普及・啓発活動を実施。
- ・販売店は駐車場があれば行きやすい。
- ・生協を利用しているため情報が無い。
- ・長後でかなり以前から農家の家で野菜や果実を販売していたので地産地消と云う言葉がない頃より地のものを消費している。現在も野菜等長後の農家から買っている。
- ・私の好物の鵠沼名物のカボチャがある。もう生産している農家が一軒とか。価格が高いため季節に一つくらいしか買わない。生産農家が増えともう少し価格が安くなると思うが。知っている人は少ない。
- ・藤沢市は、六会のわいわい市を作るとき農協に協力し 1 億円寄付していると思っている。一つの協同組合に貸付でなくて寄付は選挙の票のためだったんだろうと思っている。ほんとの話なのでしょうか？それなら組合員がもっと市に感謝の気持ちを表すイベントでも考えれば良いと思う。茅ヶ崎に道の駅ができれば負けそうだ。
- ・昭和の昔からある独自の野菜で「鵠沼かぼちゃ」というのがあった。西洋のかぼちゃとは異なりでこぼこした日本の昔ながらのかぼちゃ。ねっとりもしないし甘みもなくさらりとして青臭く現代ではあまり人気なくなってしまうのだろう。それでもわが家では先祖の時代からの「和の味」で地元の味のこのかぼちゃが大好きだった。以前は近所のスーパーや八百屋さんでも取り扱いがあった。最近は見かけなくなり入手できなくなった。こういう特徴があり伝統の野菜はぜひ名産物としてアピールして保護してほしい。「シラス」ばかりが湘南ではない。らんやシクラメン等もいつも直売生産者から購入している。洋蘭は全国で 1 位になった品種もあるので市はもっとバックアップをし、アピールするべき。はるみ米もすごくほこれると思う。平塚や横須賀のような入りやすく立派な直売所があると良い。

・藤沢市と近隣市町の農水産物の生産実態はあまり変わらないし、藤沢市の生産者が生産したものは近隣の市町にも多く出荷され、消費者も近隣の市町で生産されたものを多く買っている。

・地産地消にこだわらなくても良いのではないかと。地産地消をそこまで推進する必要性はあるのか？ 幸い観光地に恵まれているのだから、観光客に金を落とさせる枠組みを作り、実行すれば生産者にも金が渡り、盛り上がりれば市のPRにもなるのではないかと。藤沢のさいか屋や名店ビルといった古いビルを潰し、寂れた雰囲気を取り除きもっと客を呼び込む街づくりをするべきだ。また東急への直通により埼玉東京方面からさらなる呼び込みが期待できる湘南台駅周辺のパチンコ屋を潰し、高校や大学が数多く付近にあるのだから、学生の街を作り込めば若い世代の集客も期待できる。

・日本の食料自給率を上げることが重要。気候変動による異常気象や海水温度の上昇など、第一次産業を取りまく環境は著しく激変の一途にある。国策は元より各自治体の取り組みはもっと国民に取り組む姿勢を強調する必要がある。その中で地産地消なる手段の一つとして位置付けておくこと。将来に亘る国、自治体の目指すべき自給率向上の意味を国民、市民に説明することが大事だと考える。

・イタリアでのキロメートルゼロ運動により地方都市が輝きをとり戻した実績を日本・藤沢でも是非参考にほしい。

・野菜や果物をはじめとする農産物の旬を知らない子どもたちが非常に多い。地元湘南の阿部富美先生の薬膳という講義を先日聞いて感動した。

・藤沢市は学校給食の食器を石鹼で洗う、学校給食に地産地消の食材を優先的に用いているなどがあるので私たち家族は選んで藤沢市に住んでいる。みつばちの数が減り農薬や化学肥料による害はすでに検証された事実。韓国でも小・中学校のオーガニック給食など健全な取り組みがなされている。藤沢産の食材は脱農薬、脱石油系化学物質の方向で世界にアピールする負荷価値を作してほしい。

・石川地区しか知らないが、個々の田んぼの面積が小さい。

・なるべく中国のではなく日本のものを食べた方がよい。

・本庁は食堂がないので、あればより地産地消に繋がるのではないかと。

・地産地消のバーベキュー場を増やしてほしい。子供も楽しめるような企画や大人が友人を作れるような企画が欲しい。

・私は用田地区で畑を借りて家庭菜園を行っているが、野菜の旬になると一度に大量に取れることがあり、そのような野菜を利用してもらえる所があると良い。

・地域で貸し農園も増やして、個人でも地産地消、自給することがやりやすくなるように、楽しく農業をやり、収穫をして、作って食べる会もやって・・・地元で食を楽しみたい。税金を有効にこのことに使ってほしい。

・花やそれを表現している個人宅をもっと知ってもらって環境のよさを伝えていけたらいいと思う。

- ・できるだけ藤沢市産を求めようと考えている。自分たち老人はここまで生きてきたのでこれからは赤ちゃん、幼児、子供などに害の少ない食事で国を支えていただきたい。「地産地消」もっと宣伝してほしい。
- ・地産地消の知識は、テレビの情報のみ。
- ・広報ふじさわでなしや果物の特集を見たことあるが、豚も藤沢産あるのは知らなかった。